

和歌山県印刷工業組合



田辺市の「企業の森」で
森林保全活動の実施を決定！



県内の印刷関係事業者で構成する和歌山県印刷工業組合が、田辺市において、県が進める「企業の森」事業(※)を活用し、森林保全活動を実施することになりました。
「熊野再生の森」の活動は、今後10年間にわたり広葉樹を育林していく森林保全活動で、この森林保全活動の実施と併せ、地元田辺市の皆さんとの交流なども計画しており、都市と地方の交流による地域の活性化にも寄与するものと期待されます。

■和歌山県印刷工業組合「熊野再生の森」の概要

① 実施地の概要

田辺市鮎川の山林 約0.5ha（民有林）

② 実施計画

組合50周年実行委員会を母体に、森林保全活動を実施するとともに、組合員相互の活動として活用する。

平成20年2月頃に植栽を実施し、以降10期（10年間）にわたって下草刈り等の森林保全活動を行う。

・植栽樹種及び本数

コナラ、ケヤキ、モミジ、カシ類等 約1,000本

・植栽や下草刈り等の作業及び現場管理等については、西牟婁森林組合に委託する。

・組合員やその家族の方々が植栽や下草刈り等の作業に参加する。

③ 実施の目的

紙パルプを原材料として消費する印刷業界として、森林資源について無関心ではいられないことから、組合創立50周年記念事業として、「企業の森」を活用した森林環境の改善に貢献していく。

■森林保全・管理に係る協定の調印式

平成19年10月12日（金）11:00～

・場 所：和歌山県庁本館3階 知事室

・出席者：和歌山県印刷工業組合 副理事長

田辺市長

和歌山県知事

西牟婁森林組合 代表理事組合長

石本 善造

真砂 充敏

仁坂 吉伸

日向 廣

